

(3) 主要な道路事業

	路線名	工区	事業種別	整備概要	
				全 体	令和5年度
道路改良	一般国道499号	長崎市 栄上工区	道路拡幅	L = 1,300m W = 13.0(22.0)m H20年度～	用地取得 工 事
	一般国道324号	長崎市 滑川工区	道路拡幅	L = 360m W = 6.0(7.5)m H30年度～	工 事
	主要地方道長崎南環状線	長崎市 新戸町～ 江川町工区	高規格道路	L = 5,150m W = 6.5(10.0)m H28年度～	用地取得 工 事
	主要地方道野母崎宿線	長崎市 千々工区	バイパス	L = 1,150m W = 5.5(9.25)m R4年度～	用地取得
	ICアクセス道路 主要地方道長崎畝刈線	長崎市滑石2丁目 ～ 時津町野田郷 滑石工区	道路改築	L = 1,400m W = 6.5(8.0)m R5年度～	調 査 設 計
交通安全施設等整備	一般国道202号	長崎市 福田本町工区	歩 道	L = 770m W = 6.0(9.75)m H24年度～R7年度(予定)	用地取得 工 事
	主要地方道長崎多良見線	長与町 平木場工区	歩 道	L = 650m W = 6.0(9.75)m H30年度～R9年度(予定)	用地取得 工 事
	一般県道奥ノ平時津線	時津町 火籠工区	歩 道	L = 450m W = 5.5(11.0)m H30年度～R5年度(予定)	工 事
橋梁補修	一般県道樺島港脇岬線	長崎市 樺島大橋	橋梁補修	L = 227.0m W = 6.5(9.5)m R4年度～R5年度	工 事
災害防除	一般国道324号	長崎市田上町	災害防除 (落石防護柵工)	L = 150.0m R3年度～R5年度	工 事
無電柱化	一般国道206号	長崎市 大橋町～若葉町	無電柱化	L = 1,080(2,160)m H29年度～R8年度(予定)	調 査 工 事
	一般国道202号	長崎市 宝町～幸町	無電柱化	L = 280m(560)m R4年度～R9年度(予定)	設 計 工 事

① 一般国道 499 号道路改良事業（栄上工区）

一般国道499号は、長崎市中心部と市南部地域を結ぶ唯一の幹線道路であり、沿線住民の生活道路として、また基幹産業である造船業に関わる産業道路として重要な役割を担っている。

平成22年度に竿浦工区、平成23年度に蚊焼工区、令和3年度に岳路工区が完成し、現在、『栄上工区』の道路事業を推進している。



各工区の事業位置図

[事業概要]

事業区間：長崎市平山町～布巻町
 道路区分：4種1級
 設計速度：40km/h
 計画延長：1,300m
 幅員：W=13.0(22.0)m
 事業期間：平成20年度～



栄上工区沿線

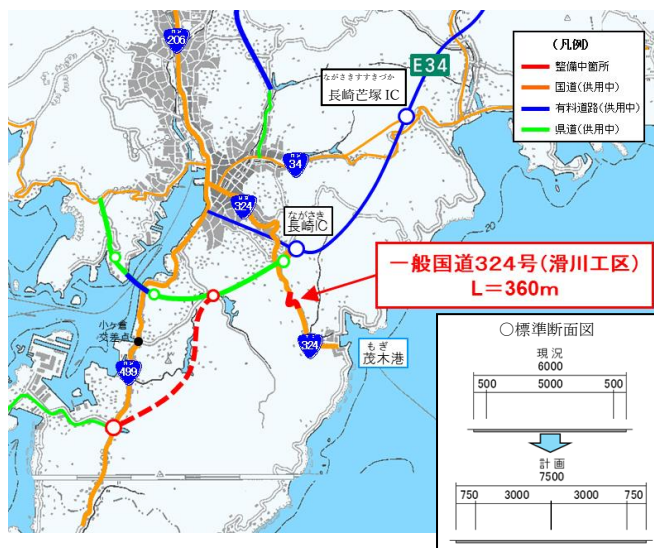
② 一般国道 324 号道路改良事業（滑川工区）

一般国道324号は、長崎市中心部と茂木町を結ぶ重要な幹線道路であり、地域住民の生活道路や産業道路として重要な役割を担うとともに、緊急輸送道路にも指定されている。

このうち、当該区間は急カーブで見通しが悪く、幅員狭小で円滑な交通に支障をきたしていることから、安全安心な生活道路の確保及び緊急輸送道路の機能強化を図ることを目的に事業を進めている。

[事業概要]

事業区間：長崎市茂木町
 道路区分：3種3級
 事業期間：平成30年度～
 設計速度：30km/h
 計画延長：360m
 幅員：W=6.0(7.5)m



③主要地方道長崎南環状線道路改良事業（新戸町～江川町工区）

当該工区は、昭和 50 年に都市計画決定（最終変更：平成 29 年）された「都市計画道路長崎外環状線（西彼杵郡時津町～長崎市江川町、L=約 22km）」の一部であり、長崎都心部の交通渋滞の緩和を図るとともに、長崎市南部地区の主要幹線道路である国道 499 号の慢性的な交通渋滞の緩和、また、主要渋滞ポイントである小ヶ倉交差点や江川交差点の交差点負荷の軽減を目的に整備を行うものである。

本工区については、平成 28 年度に事業開始し、早期完成を目標に、用地取得できた箇所から鋭意工事を進めており、今年度から（仮称）江川トンネルの工事に着手する予定である。

[事業概要]

事業区間：長崎市上戸町 4 丁目～江川町

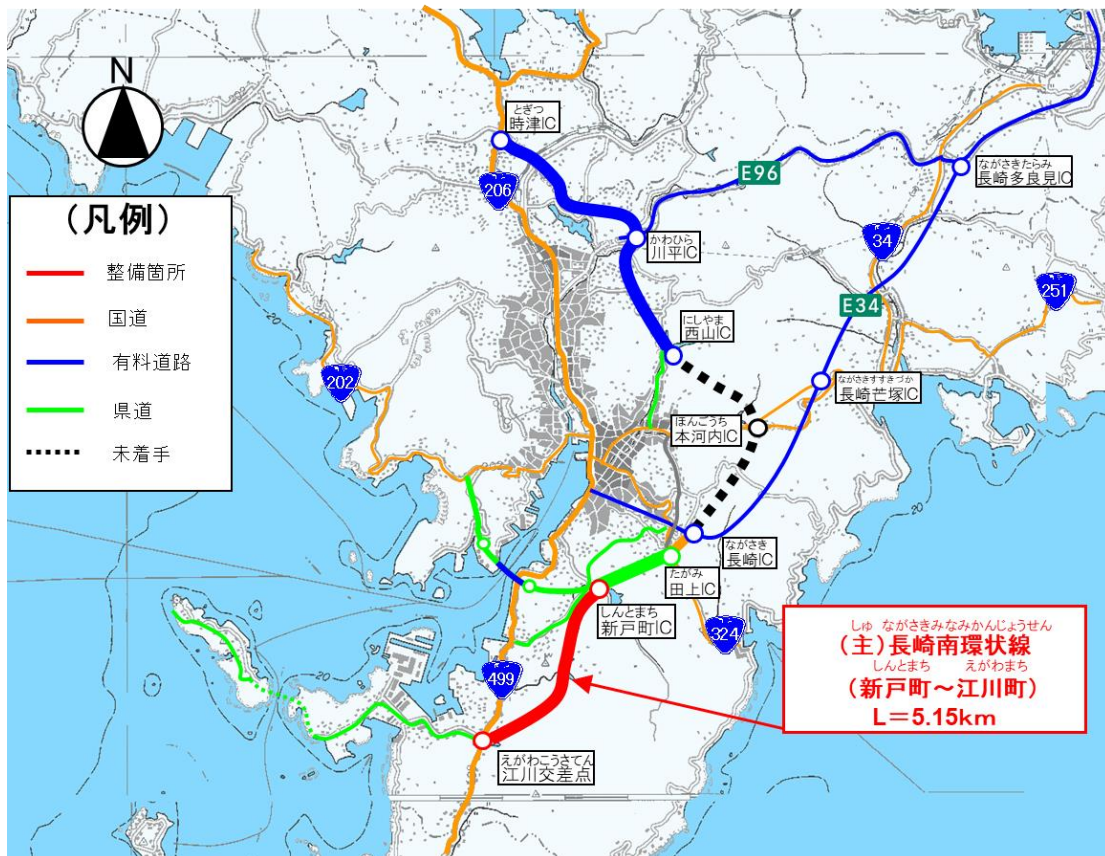
事業期間：平成 28 年度～

計画延長：5, 150 m

道路区分：1 種 4 級（自動車専用道路）

設計速度：60 km/h

幅員：W=6.5 (10.0) m



④ 主要地方道野母崎宿線道路改良事業（千々工区）

主要地方道野母崎宿線は、長崎半島の東部を縦断する延長約 48km の路線であり、東部沿岸地域の唯一の幹線道路である。

また、沿線地域では、地域特産品（茂木びわ、イチゴ等）を生かした農業活動を行っている地区が多いが、当該箇所は幅員が狭いうえに、大型車の離合が困難な箇所が多いことから、生産した商品の全国各地への速やかな出荷に支障をきたしている状況である。

当該箇所の通行車両の走行性向上、安全安心な生活道路が確保されることにより、農作物の速やかな出荷及び緊急時の代替路としての機能向上を図るものである。

[事業概要]

- 事業区間：長崎市 千々町
- 道路区分：3種4級
- 設計速度：30 km/h
- 計画延長：1,150 m
- 幅員：W=5.5 (9.25) m
- 事業期間：令和4年度～



現場状況写真



⑤ ICアクセス道路 主要地方道長崎畝刈線（滑石工区）

長崎畝刈線（滑石工区）は、高規格道路長崎南北幹線道路の一部である都市計画道路長崎時津縦貫線に並行し、長崎南北幹線道路の（仮称）滑石ICと高規格道路西彼杵道路の時津IC間を結ぶアクセス道路である。

本工区の整備により、（仮称）滑石ICへの流入・流出する交通流を円滑に処理することで、地域間の物流や生活拠点のネットワーク強化、災害時の代替路を確保するものである。

[事業概要]

事業区間：長崎市滑石2丁目～西彼杵郡時津町野田郷

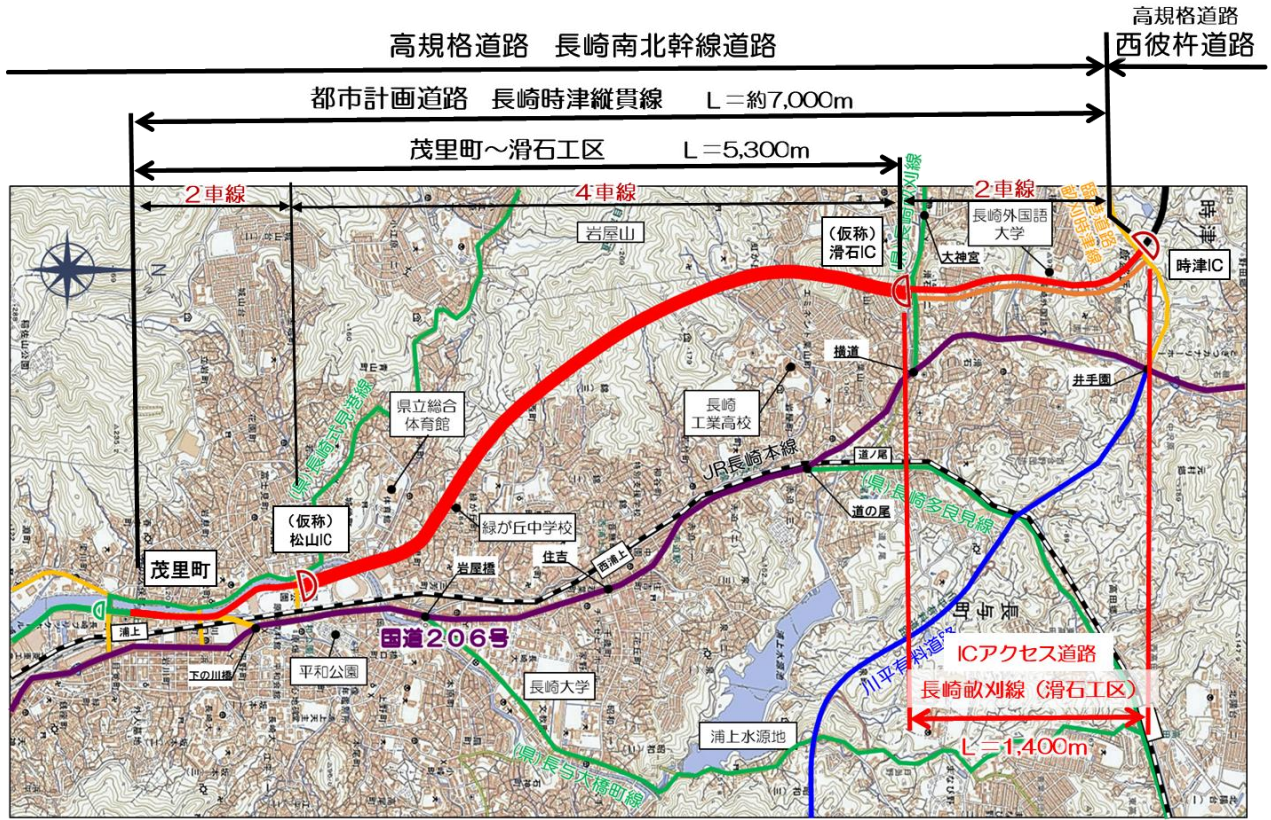
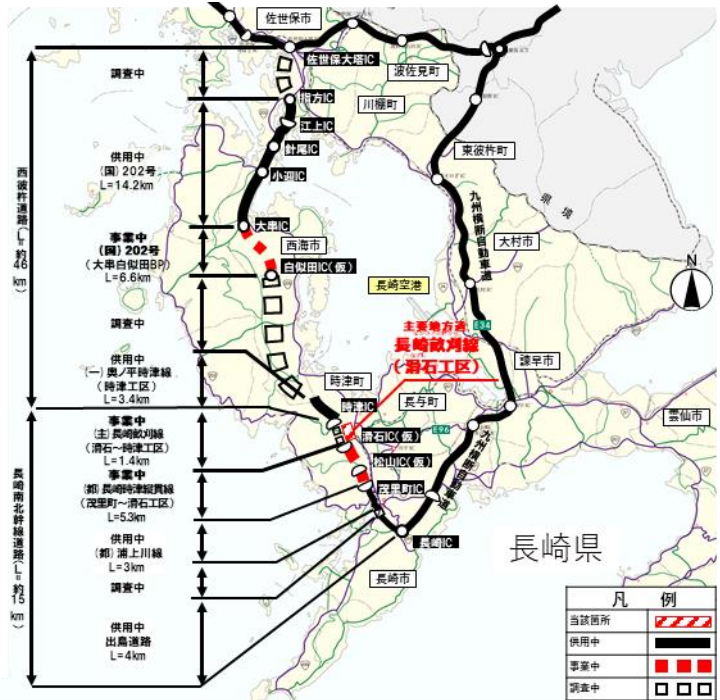
設計速度：60 km/h

道路区分：3種2級

整備延長：1,400 m



国道206号（時津町方面）の混雑状況



⑥一般国道202号交通安全施設等整備事業（福田本町工区）

一般国道202号は、福岡県福岡市を起点とし、長崎県長崎市に至る幹線道路である。当該地区は、長崎市中心街と長崎市西部の住宅地を結び、周辺に小学校・中学校が立地している地域で、児童・生徒等の歩行者や自転車が多い。しかし、歩道が狭いため、朝夕の通勤・通学時には歩行者や自転車が通行車両と輻輳し、非常に危険な状況となっている。そのため、歩道整備を行い歩行者通行の安全確保を図るものである。

〔事業概要〕 事業区間：長崎市福田本町 道路区分：3種3級
計画延長：770m 幅員：W=6.0(9.75)m
事業期間：平成24年度～令和7年度（予定）



⑦災害防除事業（法面落石対策）

当事業は、長崎県道路防災事業計画に基づき、一般国道324号の法面落石対策を実施し、歩行者及び通行車両の安全性を確保するものである。

〔事業概要〕 事業区間：長崎市田上町 事業延長：150m
事業期間：令和3年度～令和5年度 施工概要：落石防護柵工



⑧橋梁補修事業

長崎県橋梁長寿命化修繕計画に基づき、補修工事を実施しており、平成20年度より、一次緊急輸送道路に指定された橋梁のうち緊急性の高いものから順次補修工事に着手している。一般県道樺島港脇岬線樺島大橋については橋梁補修を実施するものである。

〔事業概要〕 事業区間：長崎市脇岬町
施工概要：樺島大橋 L=227.0m、W=6.5(9.5)m
事業期間：R4年度～令和5年度



樺島大橋

⑨無電柱化推進事業

電線類の地中化は(1)安全で快適な通行空間の確保(2)都市災害の防止
(3)都市景観の向上(4)観光振興(5)地域活性化等を図るため実施している。

◇一般国道206号（大橋町～若葉町工区）

[事業概要]

事業区間：長崎市大橋町～若葉町

計画延長：1,080m（2,160）m

事業期間：平成29年度～令和8年度（予定）

施工概要：サイドポール、管路埋設、マンホール・ハンドホール設置



完成イメージ写真

◇一般国道202号（宝町～幸町工区）

[事業概要]

事業区間：長崎市宝町～幸町

計画延長：280m（560）m

事業期間：令和4年度～令和9年度（予定）

施工概要：管路埋設、マンホール・ハンドホール設置



(4) 都市計画事業（街路事業）

路線名	工区	事業種別	整備概要	
			全体	令和5年度
滑石町線	長崎市 滑石2丁目 (横道工区)	道路 改築	L = 580m W = 30.0m H13年度～H25年度	平成25年度 完了
	長崎市 滑石2丁目～4丁目 (大神宮工区)	道路 改築	L = 850m W = 30.0m H23年度～R6年度	用地取得 工事
長崎南北幹線道路 長崎時津縦貫線	長崎市 茂里町～滑石2丁目 (茂里町～滑石工区)	高規格 道路	L = 5,300m W = 12.0～18.0m R4年度～	調査 設計

① 都市計画道路 滑石町線

本路線は、長崎市を南北に縦貫する国道206号と新長崎漁港を結ぶ幹線街路（主要地方道長崎畝刈線）の一部である。

沿線に市内最大の住宅団地（滑石団地）があるほか、漁港周辺の宅地開発も進み、交通量は1日あたり約20,600台に及んでおり、朝夕のラッシュ時には渋滞が深刻化している。早期の拡幅整備による渋滞解消にあわせて、周辺小中学校の通学路として児童・生徒等歩行者の安全確保の効果も期待されている。

平成25年12月に「横道工区」を供用開始し、現在、「大神宮工区」において、4車線拡幅のための河川切替工事（長崎市施工）及び本線工事を進めている。

[事業概要]

事業区間：長崎市滑石2丁目～4丁目

道路区分：4種1級

設計速度：60 km/h

整備延長：1,430 m



横道工区の供用状況



大神宮工区の現況
(大神宮交差点付近の拡幅予定地の状況)

② 長崎南北幹線道路 都市計画道路 長崎時津縦貫線（茂里町～滑石工区）

長崎南北幹線道路は、西彼杵道路と一体となって長崎～佐世保間を1時間で結ぶ高規格道路であり、これまでにながさき出島道路と（都）浦上川線の約7.1kmを供用している。本工区については、令和3年度に都市計画決定され、令和4年度に補助事業として採択された。

本工区の整備により、長崎市北部唯一の幹線道路である一般国道206号のリダンダンシーを確保し、市内の慢性的な渋滞緩和や事故リスク低減を図ることができる。

[事業概要]

事業区間：長崎市茂里町～滑石2丁目

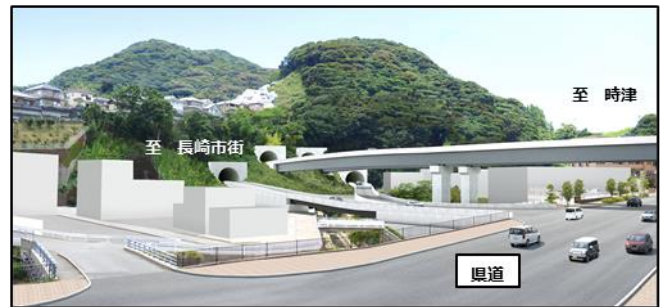
設計速度：60 km/h

道路区分：2種1級

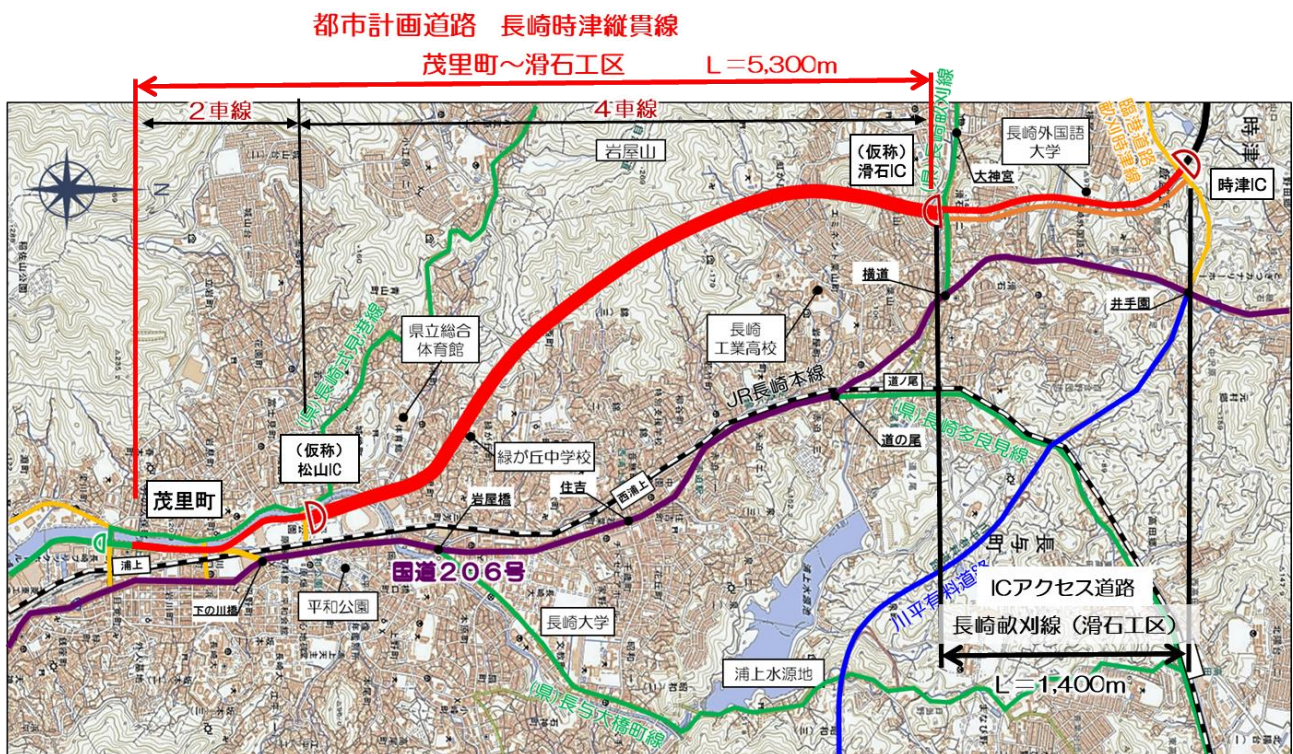
整備延長：5,300 m



国道206号の渋滞を避けて通行する救急車



(仮称) 滑石 IC 付近完成イメージ



(5) 都市計画事業（連続立体交差事業）

① JR長崎本線連続立体交差事業

JR長崎本線は市街地中央の平坦部を南北に縦断しており、市街地が東西に分断され、円滑な都市活動の妨げとなっていた。

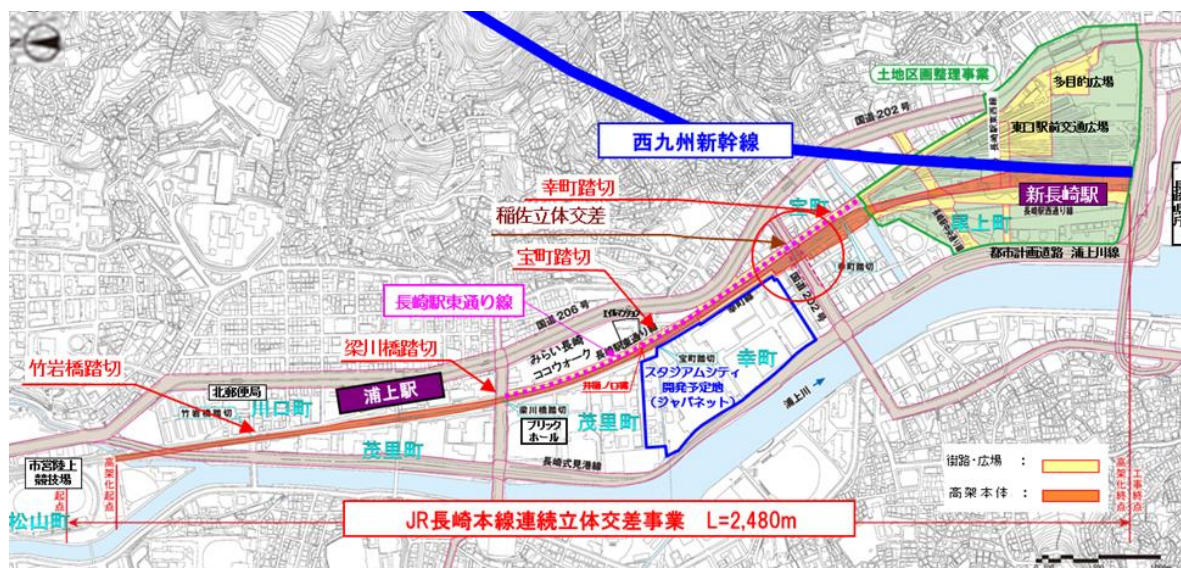
また、鉄道を含んだ東西の総交通量は1日あたり約36,000台におよび、踏切と国道が近接していることから、踏切遮断時には著しい交通渋滞を引き起こしていた。

このことから、鉄道の高架化を行い4箇所の踏切を除去し、道路交通の円滑化を図るとともに、東西の市街地が一体的に利用できるように整備するものである。

令和2年3月には高架化が完成し、新駅が開業されており、今後、周辺の国道、側道等の整備を行い早期完成を目指す。

[事業概要]

事業区間：	長崎市松山町～尾上町	L=2,480m
事業期間：	平成21年度～令和6年度（令和2年3月28日高架切替・新駅開業）	
総事業費：	約549億円（鉄道事業者の負担金を含む）	
高架化された駅：	浦上駅・長崎駅	
除去された踏切：	竹岩橋踏切・梁川橋踏切・宝町踏切・幸町踏切	
施工方法：	仮線方式	
令和5年度施工：	稲佐立体交差部整備工事、長崎駅東通り線整備工事	



●工事状況写真



浦上駅前広場の供用状況



長崎駅東通り線の現況

(6) 都市計画事業（土地区画整理事業）

① 高田南土地区画整理事業

本地区は、長崎市の北部に隣接し、JR長崎本線の道ノ尾駅を中心に、住宅地、畑地および林地からなり、幹線道路その他公共施設の整備が遅れた地区である。

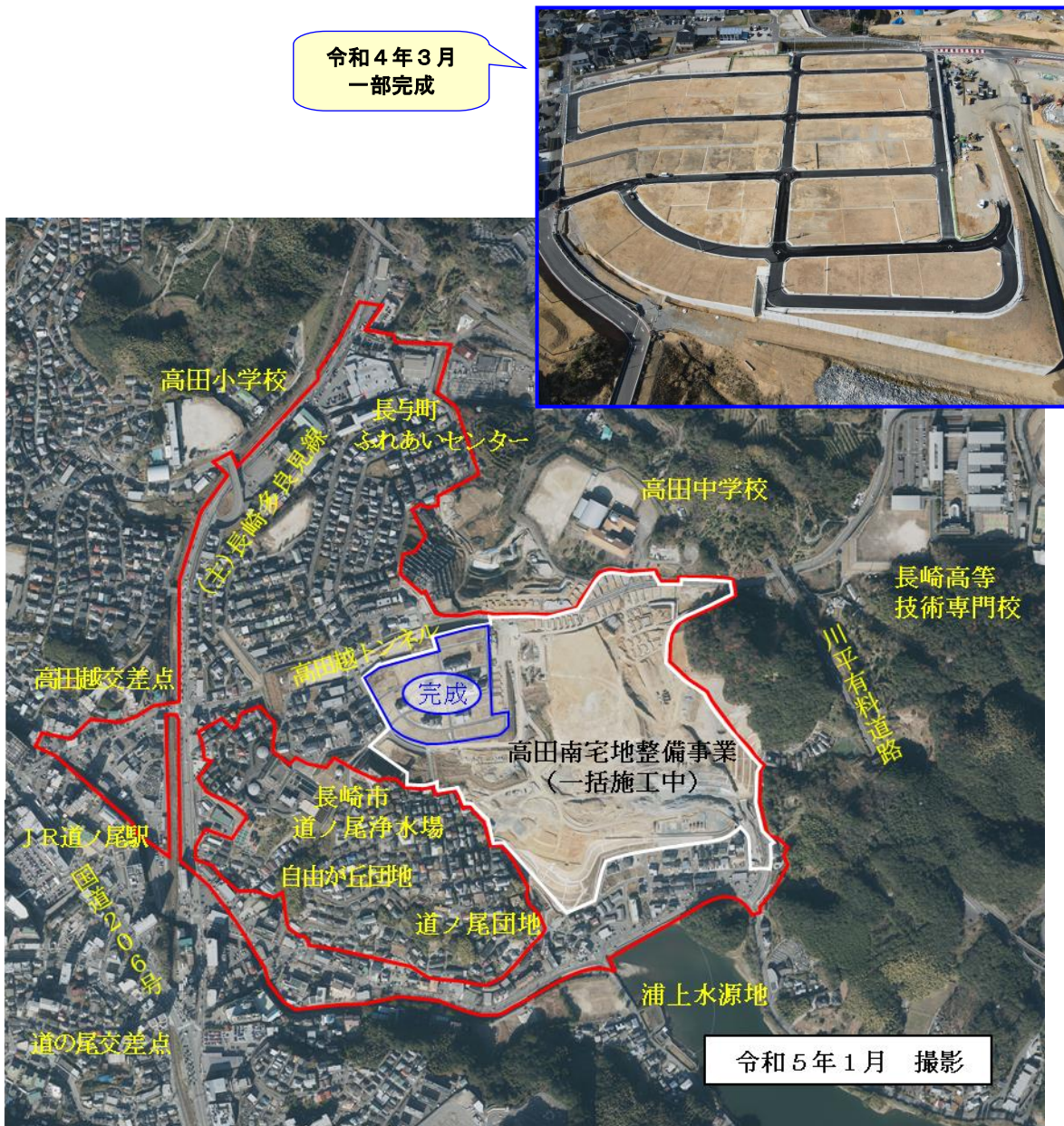
本事業は、道路、公園等の公共施設の整備の改善を行うとともに、住宅地の利用増進を図ることを目的に、昭和60年より着手し早期完成を目指し整備推進中である。

[事業概要]

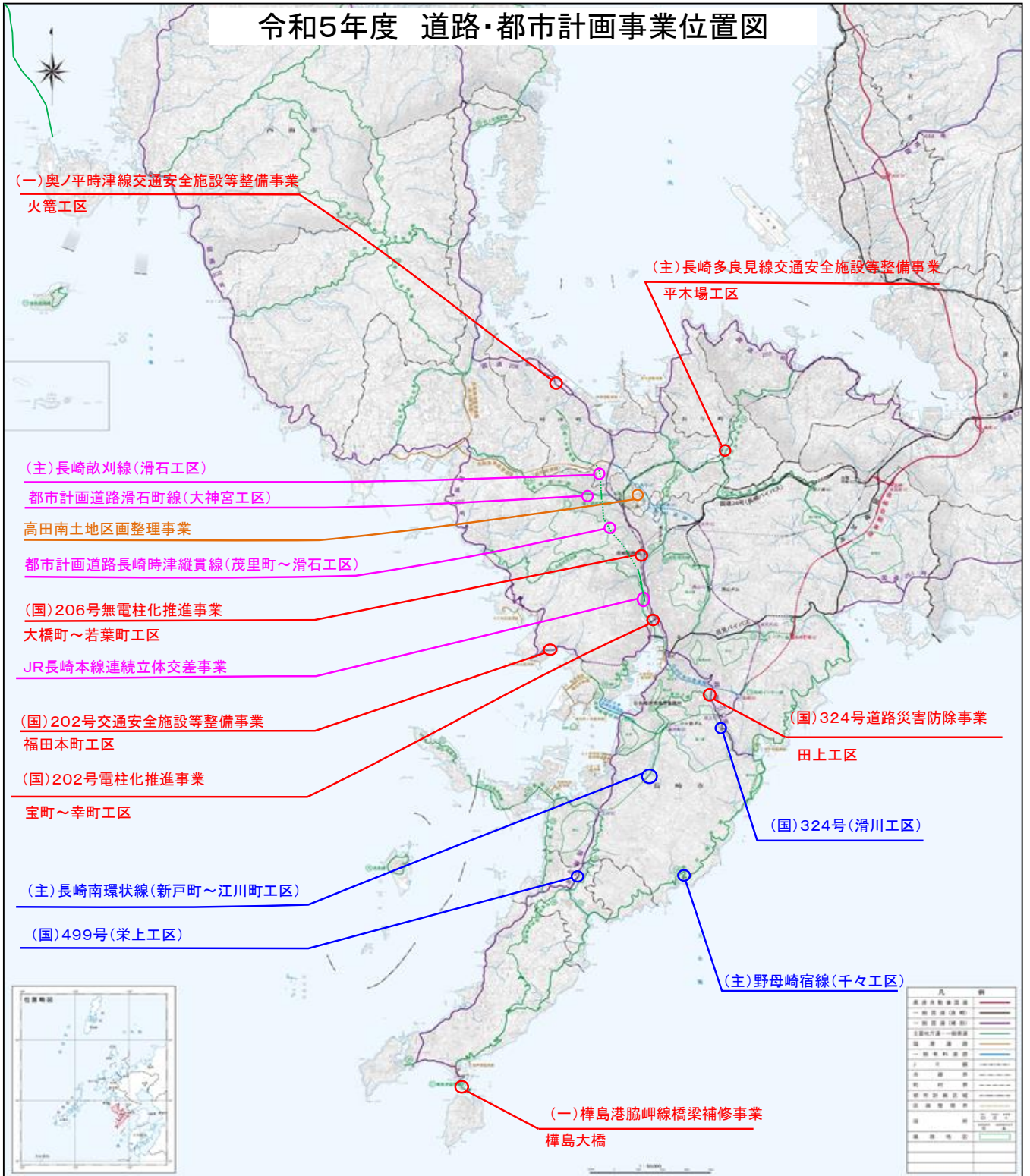
事業主体 長与町
 施行者 長崎県 (S61年8月1日から受託)
 区 域 西彼杵郡長与町高田郷
 事業期間 昭和60年度～令和12年度
 令和5年度施工 高田南宅地整備事業（設計施工一括方式）等、測量設計補償等

[全体計画]

施行区域面積 $A = 49.8\text{ha}$
 都市計画道路 $L = 4,057\text{m}$ 8路線
 区画道路 $L = 14,220\text{m}$
 公 園 $A = 15,276\text{m}^2$ 5箇所



令和5年度 道路・都市計画事業位置図



凡 例	
	道路建設課所管事業
	道路維持課所管事業
	都市計画課所管事業
	長与都市開発事業所所管事業